

北光

第 146 号
平成22年4月23日

北光寮特集号



北光会 (<http://www.hokkokai.com>)

秋田鉱山専門学校
秋田大学鉱山学部 同窓会
秋田大学工学資源学部

秋田大学工学資源学部は、明治44年(1911年)に秋田鉱山専門学校として新入生を迎えて以来、
平成23年(2011年)に創立100周年を迎えることになります。

目 次

平成22年度北光会総会のご案内	色紙
巻頭言	西 田 眞 1
会長便り	菊 地 芳 朗 3
学部創立100周年記念事業報告・寄附者御芳名	4
退職教員挨拶	菅原 征洋・佐藤 忠 8
平成21年度北光会新正会員歓迎会・大学院修了祝賀会	10
平成21年度卒業生・修了生進路状況	11
学生の声「北光会賞受賞者」	14
留学生の体験記	呉 硯 峰 20
「北光寮」特集	21
吉田 壽壽・大山 宏・辻 光・前田 秀樹 大根 公一・城門 義嗣・西村 雅史・武田 晴輝・大塚 優	
サイエンスフェスタ開催報告	サイエンスフェスタ事務局 30
テクノフェスタ開催報告	川 辺 金 光 31
寄 稿	
徳田弘先生を偲んで	菊 地 芳 朗 32
徳田弘先生のご逝去を悼む	加賀谷 誠 33
「北光丸」紹介・出版物の紹介	細 井 義 孝 34
平成22年度工学資源学部入学者志願状況	35
平成21年度第2回理事会報告	36
北から南から	38
会員だより・母校便り	44
事務局から	47
訃報	48
編集後記	50



表紙写真説明：新学生寮（西谷地寮）
撮 影：杉山 渉（MH2）

旧北光寮玄関から見た新学生寮

平成22年度 北光会総会のご案内

会 員 各 位

平成22年 4 月吉日
北光会会長 菊 地 芳 朗

今年度の北光会通常総会を下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

開催日：平成22年6月19日（土）

会 場：秋田キャッスルホテル

秋田市中通1-3-5 電話 018-834-1141(代)

通常総会

時 間 14：30～16：00

会 場 同上

議 題（案）（1）役員選出の件
（2）平成21年度会務及び事業報告の件
（3）平成21年度決算報告
（4）平成22年度予算案審議
（5）その他

感謝状・顕彰状授与式

講演会

時 間 16：10～16：50

会 場 同上

講演者 大学院工学資源学研究科長 西田 眞氏（ES49）

演 題 「学部の実状と将来構想」

懇親会

時 間 17：00～

会 場 同上

会 費 男性7,000円 女性5,000円（当日受付で申し受けます）

参加される方は6月7日(月)までに「北光」146号に同封のハガキまたは電話・FAX・E-mailでお申し込み下さい。なお、宿泊は各自お手配願います。

<お問合せ先>

北光会事務局 TEL 018-835-9822 または 018-889-2317

FAX 018-835-9822

E-mail：info@hokkokai.com

—— 平成22年度 北光会支部総会のご案内 ——

北海道支部

日 時：平成22年 5 月15日(土) 15：30～

15：30～総会 16：00～講話会(BS23 松田光浩) 17：30～懇親会

会 場：札幌サンプラザ(札幌市北区北24条西5丁目1-1 TEL 011-758-3111)
(地下鉄南北線北24条駅1番出口徒歩3分)

会 費：6,000円(今年度新入会員は無料です)

連絡先：北海道支部事務局 森 範幸(GS57) TEL 011-883-1449 E-mail:aasiyo@vega.ocn.ne.jp

東海・北陸支部

日 時：平成22年 5 月22日(土) 15：30～18：50(受付15：00～)

15：30～総会 16：20～講演会 16：50～懇親会

場 所：ホテルリソル岐阜(岐阜市長住町5-8 TEL 058-262-9269) 宿泊可
アクセス：「JR岐阜駅」「名鉄岐阜駅」より徒歩5分

講演会：講師 加藤達伸氏(AH10) <陶芸 日展入賞 他>

会 費：7,000円(女性・平成18年以降卒3,000円。当日受付にて)

申込み：「北光」146号に同封のハガキで、5月12日(月)までにお寄せください。

連絡先：東海・北陸支部事務局 安西廣恭(BS37)

TEL・FAX 0564-26-0871 E-mail:ksbzn_1003@nifty.com

◎総会協賛行事として親睦ゴルフ大会を開催いたしますので、合わせてご参加をお願いいたします。

日時：平成22年 5 月28日(金) 場所：岐阜県恵那市「ニューキャピタルゴルフ倶楽部」

申込み先：鈴木 功(TEL・FAX 0594-78-1612)

九州支部

日 時：平成22年 6 月12日(土) 16：00～理事会 17：00～総会

場 所：ホテルニューオータニ博多(福岡市中央区渡辺通り1-1-2)

会 費：8,000円(平成年卒業者は会費を一部助成します)

連絡先：九州支部事務局 瀬戸信吾(BS52)

TEL 092-475-8820 E-mail:shingo_seto@fukuoka-sui.co.jp

秋田支部

日 時：平成22年 6 月19日(土)

11：30～支部総会 14：30～本部総会・講演会 17：00～懇親会(本部と合同)

場 所：秋田キャスルホテル4F(秋田市中通1-3-5 TEL 018-834-1141)

会 費：懇親会参加の場合は7,000円(当日持参)

連絡先：秋田支部事務局 石塚鈴雄(FS48) TEL 018-868-2808(自宅)

TEL 018-887-5310(勤務先) E-mail:ac730807@city.akita.akita.jp

申込み：「北光」146号に同封のハガキ、またはE-mailでお申し込み下さい。

本部総会用の返信ハガキとお間違いのないようご注意下さい。

※お願い：支部総会に欠席の方も、今後の支部行事をご案内しますのでハガキに連絡先をご記入の上、返信下さいますようお願い致します。

関西支部

日 時：平成22年 7 月3日(土) 理事会13：00～ 総会14：00～ 懇親会16：30～

場 所：大阪弥生会館(大阪市北区柴田2-4-53 TEL 06-6373-1841)

(JR大阪駅中央北口北へ徒歩5分)

会 費：7,000円

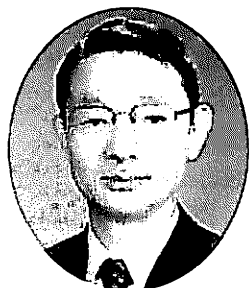
連絡先：関西支部事務局 鈴木邦彦(BS59) 大阪市大正区鶴崎1-4-3 ヤマキウ(株内)

TEL 06-6552-7420 FAX 06-6552-7421

支部長 石川浩次(BS32M) E-mail:k_ishikawa@msj.biglobe.ne.jp

— 1 世 紀 —

秋田大学大学院工学資源学研究科長 西 田 眞 (ES49)
(工学資源学部長)



1月に実施された次期工学資源学部長選挙に於いて再選され、4月からさらに2年間学部長を勤めることになりました電気49年卒業の西田でございます。

「…明治四十三年三月二六日勅令六十六号を以て、文部省直轄諸学校改正により直轄学校に加えられたものである…」と秋田鉱山専門学校・秋田大学鉱山学部50年史の35頁に記載されております。遡ること今から丁度1世紀前の今月(3月)、工学資源学部の前身である秋田鉱山専門学校の設置が正式に認められました。歴史ある学部が100年を迎える時を同じくし、学部長を勤めるのは誠に名誉なことであり、また来年秋には学部創立100周年記念事業が待ちかまえていることを考えますと、身の引き締まる思いです。微力ではありますが全力を尽くす所存でおりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、学部創立100年は、奇しくも大学の節目にも重なります。平成16年、全国の国立大学は一斉に国立大学法人として出発いたしました。国立大学法人へ移行した6年間の第1期中期目標・中期計画期間は平成22年3月を以て終了し、4月から第2期がスタートします。第1期の平成16年～平成19年度の4年分の法人評価結果は既に公表されており、工学資源学部・工学資源学研究科は概ね妥当な評価結果を得ています。しかし、少子高齢化の進行、経済環境の悪化など、大学の置かれている環境は年々厳しさを増し、22年度から始まる第2期6年間は生き残りを賭けた戦いになると予想されます。現

在、地方国立大学は特色と機能を明確にすることを迫られています。これに対する私なりの将来構想を、簡単にご紹介させていただきます。

第一に、鉱山専門学校への回帰、すなわち「1世紀にわたる資源分野に関する教育研究実績を活かすこと」です。その一つが、「国際資源学教育研究センター」の設置となります。文部科学省の助言と吉村学長のご支援の下、昨年10月1日に全学センターとして設置されました。教員定員には学内措置として学長持ち定員1名、工学資源学部から提出した2名を当てることとし、さらに文部科学省に3名の教員増を要求いたしておりました。その結果、22年度予算に「国際資源学教育研究センター」の教員の人件費として要求通り、3名分が盛り込まれました。学生定員に関連しない教員純増が認められたのは、工学資源学部へ改組して初の出来事になります。また、平成16年度の法人化以降、「各大学における組織整備は独自で行うように」との方針が示され、例外とされる京大の万能細胞研究グループを除き、各大学からの教員定員純増要求は認められていませんでした。このような状況に加えて政権が変わり科学分野の予算査定が厳しくなる中、教員定員増が、それも要求通り満額認められたことは、極めて異例なことです。当に「本学が資源人材育成の中核的大学として認知された」と申しても過言ではありません。明治43年、国や当時の鉱業界期待の下に創立された本学部が、資源学分野の担い手として100年後の今、再認識される存在に立ち戻ったと思う次第です。今後、本学部と国際資源学教育研究センターとが連携し、国際的に活躍できる資源分野の人材育成に邁進することを期待されています。

さらに、昨年4月、DOWAホールディングズからの寄付により、「リサイクルプロセッシング講座」が本学部設置されております。平成20年度科学技術振興調整費に採択された「あきたアーバンマイン技術者養成プログラム」も特色ある取組であり、リサイクル・アーバンマイン関連分野は資源学の新しい展開としてさらなる発展が期待されます。

第二に、共同大学院の設置と大学院専攻の改組が挙げられます。共同大学院は工学資源学部と秋田県立大学とが共同で設置する予定の大学院であり、平成19年から進めてきた大学間連携を具現化するものです。共同大学院は本学部工学系分野の新たな挑戦でもあり、秋田県産業の活性化と、低炭素社会に資する教育研究分野を中心に検討を進めています。大学院の改組は、平成20年4月に設置した生命化学科と環境応用化学科の学年進行に伴う博士前期課程の整備と、博士後期課程学生定員の適正化を目指すも

のです。

第三は大学院部局化へ移行、すなわち教員所属組織の変更です。4月から学部所属の教員は全員研究科に所属し、各学科や各専攻に教育研究のため出動する体制に変わります。部局化への移行は人件費の1%削減への対応と、学部に関心を産むための戦略的な人事を可能にすることにあります。このため、在籍されている先生方にとって、教育研究環境に大きな変更は無く、現在の学科体制と基本的には同じです。

以上、学部の近未来の構想について簡単にご紹介させていただきました。学部創立100周年記念事業の推進、日常的な学部運営、どれをとりにしても同窓生の皆様方のご支援が不可欠です。工学資源学部・工学資源学研究科のさらなる発展のため、北光会の皆様方のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

(平成22年3月)

——— お知らせ ———

工学資源学部の教職員所属組織は、平成22年4月より大学院部局化へ移行し、工学資源学部から大学院工学資源学研究科となりました。教職員の所属先は各学科から各専攻に変わりました。

北光会、100周年 最近の動向

菊 地 芳 朗 (GS34)



今回は、最初に悲しいことを申さなければなりません。

本会の名誉会員で秋田大学名誉教授、元学長、創立100周年記念会会長徳田弘先生が去る3月8日ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表するとともに、心からご冥福を

お祈りいたします。

一昨年のリーマンショックで100年に一度と云う経済状況から、昨今は若干の回復の兆しがあると報じられておりますが、実生活では殆ど感じられません。このような状況のなかで今年も3月22日卒業式があり新正会員を迎えることが出来ました。歓迎会の挨拶で「世のなか不況と云われているが、不況の時こそ温室効果ガスの削減や少子化問題など、不況克服のために若い皆様に期待することが沢山ある」と申しところす。

創立100周年募金は3月31日現在、3,591件1億4,738万円のご芳志を頂き感謝申し上げます。その内、北光会は3,028名7,446万円でありますが、企業は151社4,508万円となっております。

卒業式前日の3月21日に鉱業博物館後援会理事会・評議員会、北光会理事会、創立100周年記念募金委員会と役員会がありました。今回はこれらの会議について触れてみることにいたします。

鉱業博物館後援会は本年7月を以て解散することになりました。この後援会は昭和41年に設立されました。学部創立50周年記念事業として博物館が建設されましたが、寄付金募集が滞り、工事代金を全額支払うことが出来ませんでした。ところが秋田県出身の菅礼之助氏の格別なご配慮で日本金属(株)から4,000万円の寄付を頂き工事代金を支払い、余剰金1,500万円を基本財産として後援会(財団)を設立し、博物館の発展に寄与することにしました。しかし、法律の改正などで財団の運営が困難となり、この度解散することになりました。代わって「秋田大

学工学資源学部附属鉱業博物館の活動を支援する会」(仮称・財団解散後は後援会とする)を設置することにしました。

一方、募金委員会ですが、先に申し述べたように企業募金が遅れております。企業募金の目標額は1億5,000万円ですが、まだ1/3にも達していません。現在の経済状況を考えると困難な状況と見られますが、内情を見ると企業訪問が進んでいないことに原因があると見られます。

今回の募金を始めるにあたり、募金をお願いする企業として同窓生が3名以上勤めている企業のリストを作成しました。1,500社を数えました。内、既に訪問等でご挨拶されたのは約500社であります。残る1,000社は何らのアプローチもされていません。これを支部別に見ますと秋田支部と東京支部が最も多く各々約400社となっております。今日の経済状況を考えると、企業募金は勤めている同窓生を通してお願いした方が良いのでは、と考えております。

企業数の多い両支部の支部長には企業募金に対処するため募金委員会副委員長に就任するよう募金委員会の了承を頂きました。北光会としても更なる応援態勢を強化するため、両支部長を北光会副会長をお願いする旨、理事会の承認を得たところです。

その他の各支部にも企業募金についてご協力をお願いいたします。

募金期間は残すところ1年6ヶ月となりました。ご協力の程宜しくお願いいたします。

創立100周年記念役員会では、新たな会長を吉村昇学長にお願いしたところ快諾して頂きました。また、創立100周年記念式典の日時と会場が決まりました。平成23年10月1日(土)、秋田アトリオンです。詳細はこれから検討されます。

最後に新会員歓迎会の席上、新会員から北光会費を忘れずに支払っていく、旨の力強い挨拶を頂きました。頼もしい限りと期待しているところです。

北光会は皆様の会費で維持されております。会費納入率の向上にご協力下さい。

事務局から

◇年会費について

＜平成22年度分以降の年会費を納入済みの方＞

ご納入に対し厚くお礼申し上げます。年会費納入済み年度は「北光」送付用封筒の宛名ラベル（バーコードの左上）に記載されております。22となっている場合、「平成22年度分まで納入済」を表します。

秋田県秋田市手形学園町 1 - 1
北光 太郎 様
22 （会員番号）（卒業年学科）

＜今回払込み用紙が同封されている方＞

◎「北光」146号に同封の払込用紙は平成22年4月1日現在の年会費納入状況により作成されております。平成22年度分の年会費のご協力をお願い致します。

◎6,000円（2年分）9,000円（3年分）12,000円（5年分）ご納入の方は金額を訂正の上郵便局でお払込をお願い致します。

◇北光会へのお問い合わせ、住所変更等のご連絡は下記までお願いいたします。

010-8502
秋田市手形学園町 1 - 1
秋田大学工学資源学部内
北光会
TEL 018-835-9822 または018-889-2317
FAX 018-835-9822
E-mail : info@hokkokai.com

◇寄附金（北光145号発行後受付順、敬称略）

次の方々よりご芳志を頂戴いたしました。厚くお礼申し上げます。

故 赤上 陽出男（ES22）ご遺族	100,000円
KS24クラス会	20,000円
阿部 昌夫（BS24）	100,000円
菊地 芳朗（GS34）	20,000円

【お詫び】

「北光」145号（平成21年11月発行）の計報欄に、誤って伊藤成己（冶金H3）様を掲載してしまいました。伊藤様はご健在です。伊藤様には深くお詫び申し上げます。

今後は情報を充分に確認した上で「北光」へ掲載する所存です。

◇平成22年度北光会本部事務局

事務局 長 神谷 修（MS51）
庶務担当 麻生 節夫（HS52）
会計担当 五十嵐隆治（ES49）
「北光」編集 大友 崇穂（KS47）
H P 担当 横山 洋之（DH01）
よろしくお願い致します。

「北光」146号には「平成22年度北光会総会出欠ハガキ」が同封されておりますが、下記支部の方々には「支部総会出欠ハガキ」も同封され、ハガキが2枚となっております。本誌巻頭で支部総会案内をご確認の上、本部（秋田大学内北光会）、支部宛それぞれ御返事をお願い致します。

「秋田支部総会」本部と同じ6月19日（土）開催

秋田県内に居住する会員に同封されております。

「東海北陸支部総会」5月22日（土）開催

愛知・岐阜・三重・石川・富山、各県に居住する会員に同封されております。

訃 報



渡 部 美 種 先生 ご逝去

北光会名誉会員・元秋田大学長、渡部美種先生は、平成21年11月9日ご逝去されました。(享年88歳) 昭和48年4月秋田大学医学部教授に赴任、昭和61年～平成3年秋田大学長として多大の功績を残されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。



徳 田 弘 先生 ご逝去

北光会名誉会員・元秋田大学長、徳田弘先生は、平成22年3月8日ご逝去されました。(享年77歳) 昭和46年4月秋田大学鉱山学部土木工学科に赴任され、平成3年～平成7年鉱山学部長、平成8年～平成13年秋田大学長として多大の功績を残されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

(北光145号発行後連絡を受けた方々) 連絡先については事務局にお問い合わせ下さい。

科・年	氏 名	死亡年月日	KS19	松 嶋 正	兵庫県	H21年 6 月19日
BS9	角 田 杉 雄	神奈川県 H21年 9 月30日	MS19	三 浦 芳 郎	秋田県	H22年 2 月 8 日
HS9	加 茂 久 雄	静岡県 H19年11月 9 日	MS19	津 川 博 司	福岡県	H21年10月 3 日
MS13	石 川 辰 哉	東京都 H21年 7 月11日	ES20	田 窪 精 一	大阪府	H21年 9 月
MS13	田 中 悦太郎	神奈川県 H15年 7 月 7 日	MS20	伊 保 栄 藏	福島県	H21年10月28日
MS15	田 原 喜代太	福岡県 H22年 2 月26日	MS20	畠 山 亨	秋田県	H21年10月 9 日
BS16Z	米 倉 守 男	埼玉県 H21年10月21日	BS22	町 田 由 春	東京都	H21年11月22日
HS16Z	市 川 九二三	東京都 H21年11月22日	BS22	木 曾 宗太郎	北海道	H21年10月 6 日
HS16Z	白 石 達 男	東京都 H21年11月27日	HS22	平 本 芳 三	神奈川県	H21年12月18日
BS16K	中 島 一 良	神奈川県 H22年 2 月18日	KS22	中 島 和 作	東京都	H22年 2 月28日
BS16K	松 本 貞 二	東京都 H21年 8 月20日	OS22	三 宅 淑	秋田県	H21年11月16日
MS16K	小 山 和 夫	埼玉県 H21年 9 月25日	BS23	鈴 木 郁 也	栃木県	H21年10月14日
BS18	石 黒 一 正	埼玉県 H21年 9 月16日	OS23	滝 沢 信 行	北海道	H21年 8 月21日
BS18	鈴 木 利 弘	H22年 1 月20日	TS23	伊 藤 日出男	愛知県	H21年 4 月24日
BS18	早 田 迪	北海道 H22年 3 月12日	ES24	福 田 豊 樹	静岡県	H22年 1 月 1 日
BS19	滑 川 又 夫	秋田県 H21年 8 月23日	ES24	藤 本 敬 孝	岩手県	H21年 7 月29日
ES19	厚 母 孝 治	大阪府 H20年12月20日	FS24	羽 岡 悌 次	埼玉県	H21年11月24日
HS19	小野山 英 彦	福岡県 H21年 5 月15日	HS24	伊 藤 豊	千葉県	H21年 9 月22日

KS25	石 塚 久 雄	千葉県	H21年 2 月24日	BS39	木 村 卓 夫	神奈川県	H22年 3 月 1 日
TS26	麓 淳 二	秋田県	H21年 9 月 4 日	BS41	加 藤 智 昭	長野県	H22年 1 月19日
MS28	藤 井 秀 一	神奈川県	H18年 3 月12日	ES43	小 室 俊 雄		H21年11月 6 日
BS29M	山 田 満	北海道	H20年 2 月 1 日	CS46	佐 藤 仁	千葉県	H21年 5 月10日
ES31	町 田 長 男	静岡県	H21年 4 月17日	KS46	九 嶋 純	秋田県	H21年12月 4 日
BS34	辻 勉	福島県	H21年 6 月26日	MS46	福 田 光 男	岐阜県	H22年 3 月 2 日
FS34	鈴 木 重 昭	千葉県	H10年 3 月29日	FS58	佐々木 昇	宮城県	H19年 6 月16日
FS35	遊 座 一 彦	岩手県	H21年12月18日	PH3	船 木 洋	秋田県	H21年10月 7 日
HS37	渡 邊 精 悦	秋田県	H22年 2 月14日				



— 編 集 後 記 —

先日使える予算が少し出来たので新しいレーザーポインターを購入しました。私達が学生の頃はOHPと指し棒が卒論発表の主流だったのですが、最近プロジェクターとレーザーポインターが主流になってきています。このレーザーポインターを研究室の棚に収納しようと思ったところ、中に物が一杯で入りませんでした。仕方がないので中の物を出して整理していると、昔のサイズの筆箱が出てきました。桜の樺細工で出来ており、蓋を開けると黒塗りの中地に金文字で「秋田大学鉱山学部 資源化学工学科」と書かれています。

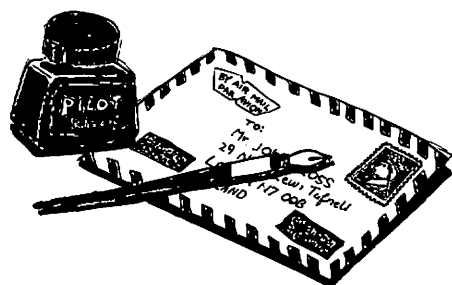
私が学生だった頃よりも、さらにもっともっと前の時代からの息づかいが伝わった気がしました。時代はどんどん進んでいて、建物や学科も学部も日夜新しく変わって行きますけれど、過去に上書きされているのではなくて新しい部分を追加しているのであって、基盤となっている昔は決して無くなることはないんだと思いました。

「北光」はそんな過去をつなぎ止め、現在の学生や鉱山学部に関わる人達に時代を語り、そして現在の人達は未来へ鉱山学部を伝える大事な役割があるのだと思います。

そんな北光の紙面作りを心がけて、編集委員として携われたことを嬉しく思います。

この筆箱が私の手に渡ってきたことは、何かの暗示だったのかも知れません。

山下剛司 (RH4)



発行所 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
秋田大学工学資源学部 北光会
URL: <http://www.hokkokai.com>
E-mail: info@hokkokai.com
電話 018 (835) 9822
018 (889) 2317
FAX 018 (835) 9822
振替 02510-5-1231

発行人 神谷 修 (MS51)

編集委員

大友 崇穂 (KS47), 今井 忠男 (BS63)
平元 和彦 (MH3), 山下 剛司 (RH4)
宮崎 敏夫 (MH8), 高橋 毅 (EH10)
福田 誠 (EH14), 佐藤 菜花 (WH18B)
齋藤 憲寿 (CH18)

北光会事務局

事務局長 神谷 修 (MS51)
庶務担当理事 麻生 節夫 (HS52)
会計担当理事 五十嵐 隆治 (ES49)
ホームページ担当理事
横山 洋之 (DH1)
コンピュータ担当理事
玉本 英夫

事務室 遠藤 福子, 佐々木 静子
印刷所 秋田活版印刷株式会社

「秋田鑛專記念絵葉書」



秋田鉱山専門学校 全景



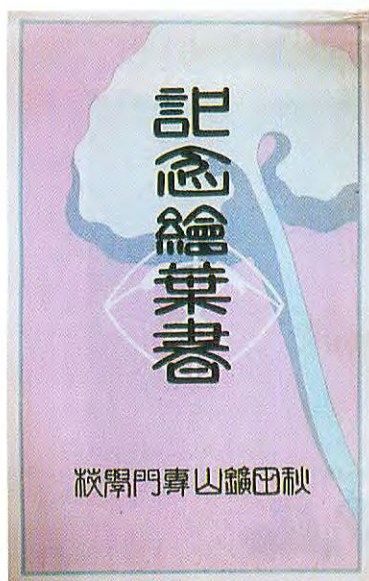
秋田鉱山専門学校 燃料科実験室



秋田鉱山専門学校 鉱山機械科教室



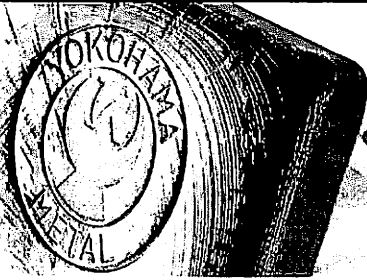
秋田鉱山専門学校 本館



記念絵葉書（秋田鉱山専門学校）



秋田鉱山専門学校 講堂



横浜金属株式会社

終わりのない鉱脈は、都市にある。

純銀
999.9

Gold Silver Platinum Palladium Rhodium Ruthenium

- 社団法人日本金地金流通協会正会員
- L.M.E.(ロンドン金属取引所)銀地金公認ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金受渡供用品指定ブランド
- 東京工業品取引所 銀地金指定鑑定業者
- 日本工業規格表示許可工場(銀地金)
- ISO9001認証登録(横浜金属株式会社)
- ISO14001認証登録(横浜金属商事株式会社)
- ISO9002認証登録(裕昌金属工業株式会社)
- 社団法人日本経済団体連合会会員(横浜金属株式会社)

貴金属 精製・精錬

貴金属 歯科材精製・材料販売

貴金属 工業材料

貴金属 宝飾品加工販売



YOKOHAMA METAL CO., LTD.

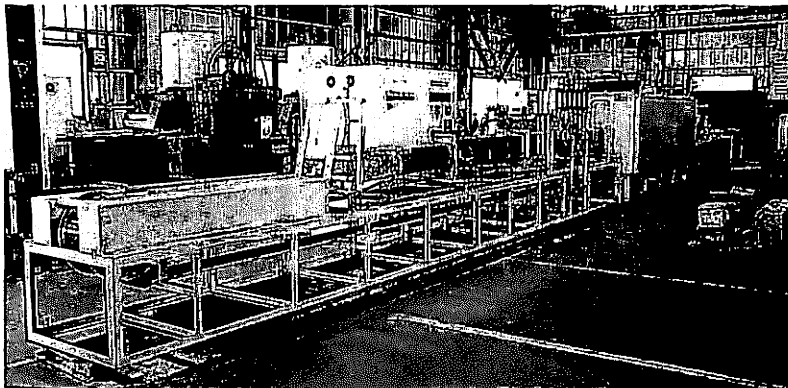
横浜金属グループ

横浜金属商事・JCY・裕昌金属工業(韓国)

本社/〒229-1132 神奈川県相模原市橋本台3-5-2 Tel:042(773)4411 Fax:042(773)4775
<http://www.yk-metal.com>

ステンレスの光輝焼鈍・硬化処理

精密鍛造の光輝球状化焼鈍



株式会社 **サーマル**

〒173-0014 東京都板橋区大山東町38-8

Tel.03-3962-4011 Fax.03-3963-0694

URL <http://www.e-thermal.co.jp> E-mail thermal1@sepia.ocn.ne.jp